

精密減速機 RV™ の新たな生産拠点、浜松新工場が竣工

ナブテスコ株式会社（本社：東京都千代田区、社長：木村和正）は、精密減速機 RV™ の新たな生産拠点である浜松新工場（静岡県浜松市）の竣工式を本日執り行いましたことをお知らせいたします。式典には浜松市の中野祐介市長をはじめとした関係者の皆さまに多数ご臨席を賜り、新工場の竣工を祝いました。

浜松新工場は「ものづくりイノベーションとSDGs高評価を有する世界No.1のスマート工場」をコンセプトとしており、2024年中の稼働開始を予定しております。今後益々増大する省人化・自動化ニーズの高まりとともに、精密減速機は中長期的にわたって高い需要の伸びが見込まれており、高い自動化率による生産性の向上に取り組むとともに、高品質な製品をお客さまへ安定的に供給してまいります。

以上



浜松工場 事務棟 外観



地元の天竜杉を使用した守衛所



駐車場のナブテスコモンスターズ



代表取締役社長 木村和正より挨拶



植樹式

【浜松工場の概要】

名称 : ナブテスコ株式会社 浜松工場
所在地 : 静岡県浜松市北区都田町川山地区第三都田地区工場用地11区画
生産能力 : 定時生産能力 年産120万台 (2030年時点)
敷地面積 : 延床面積181,700㎡
着工時期 : 2022年9月
投資金額 : 約470億円 (2022~2026年)

■ナブテスコ株式会社について <https://www.nabtesco.com/>

2003年に帝人製機株式会社と株式会社ナブコの統合により誕生。独創的なモーションコントロール技術で、生産現場の自動化や陸海空の安全・安心・快適な移動を支える機械コンポーネントメーカー。

精密減速機事業では、1980年代に高精度、高剛性、高信頼性を特徴とした精密減速機RV®を開発して以来、中大型産業用ロボットの関節用途では世界トップシェアの約60%を有している。自動化・省人化ニーズの拡大により、工作機械や半導体製造などの一般産業分野での採用も進んでいる。生産拠点は三重県津市、静岡県浜松市、中国：江蘇省常州市。